

団 交 情 報

NO. 831 <国労千交第3号>

申入日：2023. 1. 17

団交日：2023. 2. 20

国労千葉地方本部

「運営体制の見直し」等 についての団交開催

1. 津田沼営業統括センターについて

- ① 「一部業務の業務委託」により 5 徹減が可能となる理由を明かにすること。

【文書回答】 効率的な業務執行体制の構築を目的とし、体制の見直しを実施する考えである。

(組合) 津田沼駅のホーム担当が行っている業務を委託するという事か。

(会社) 全ての業務を委託するわけではない。車内貫通、車いす業務を委託する。遺失物業務は J E S S に委託しているところを CSP に変更する。

(組合) 現行津田沼駅ホーム担当の作業ダイヤは 5 徹か。

(会社) ホーム担当は 6 徹で、予備で入る担務が 1 徹あるので 7 徹である。

(組合) 7 徹のうち 5 徹減らすという事か。

(会社) 表現として、津田沼営業統括センターの作業ダイヤを 5 徹減らすということである。

(組合) 今回委託する業務は、ホーム担当のみが行っている業務か。

(会社) そうである。

(組合) これまで委託先は JEES であったが今回 CSP にした理由は何か。

(会社) CSP がノウハウを有しているからである。

(組合) 他支社で業務委託しているということか。

(会社) 他支社で実施していると聞いている。

(組合) CSP 社員は各ホームに終日いるという契約か。

(会社) 終日である。

(組合) 旅客より遺失物の検索依頼があった場合 CSP 社員が検索手配するのか。

(会社) ホーム上でお客さまから依頼があった場合は CSP 社員が行う。改札に依頼があった場合は改札担当社員が行った方が良く考えている。

(組合) 車内の遺失物検索はどうなるのか。

(会社) 車内点検業務として委託するので CSP 社員が対応する。

(組合) ダイヤを見て検索依頼をすると思うが。

(会社) ATOS 画面を見て行う。

(組合) 津田沼駅に検索依頼をする場合のやり方は変わ

るのか。

(会社) 基本的に同じ方法で調整している。改札で受けた場合はホームの CSP 社員に情報を提供し、CSP 社員が対応する。

(組合) 連絡は IP 無線を使うのか。

(会社) IP 無線を配備する予定である。テレスピも使う。

(組合) 情報を提供するだけだと危ないのではないか。

(会社) 言われたら判りましたと回答する。JEES の駅では今もそうではないか。

(組合) この様なやり方は千葉支社では初めてか。

(会社) 舞浜駅で CSP に委託している。情報提供に基づいて行っている。

(組合) 遺失物取扱所の場所や営業時間、休憩時間は現行通りか。

(会社) 場所は同じで時間は初電から終電で対応するよう調整している。

(組合) 休憩は。

(会社) 業務が輻輳した場合、いない可能性はあるが、初終電で対応すると聞いている。

(組合) 休憩時間はどうなるのか。

(会社) 休憩時間として明示するとは聞いていない。

- ② 津田沼駅の朝夕の通勤対策に変更があれば明らかにすること。

- ③ 業務委託する車いす等の案内業務は終日 CSP が実施するのか。また、実施しない時間帯（休憩時間等）があれば明らかにすること。

【文書回答】 業務受託会社にて対応することとなる。

なお、必要な周知等については、実施する考えである。

(組合) 通対の時間帯の変更はあるのか。

(会社) 最終調整をしている。基本的には変わらない。

(組合) 朝通対時の社員の配置はどうなるのか。

(会社) 乗降終了会図は駅社員が出す。車内貫通は CSP が行う。現行と同程度の配置をすると聞いている。

(組合) 5 徹減り、残った 2 徹の人がホーム関係の業務を引き続き行っていくという形か。

(会社) イメージとしてはそうである。

(組合) JR 社員の詰所はあるのか。

(会社) 現行のようにホーム事務室になる。

(組合) ホーム上の異常時対応はどうなるのか。

(会社) 放送や誘導案内は行う。線路内に立ち入ることはない。

(組合) 人身事故でも線路には降りないという事で良いか。

(会社) そうである。

(組合) 列停が扱われた場合はどうなるか。

(会社) 復位は警備員はやらない。JR 社員が行う。

(組合) ホームに社員が常駐しなくなり、改札や駅長事務室から社員が駆け付けると言う事か。

(会社) そうである。

- (組合) 指令とのやり取りは、CSP 社員は出来るのか。
- (会社) 情報提供として行う。契約内容は JEES と一緒である。
- (組合) 線路内落し物の拾得はどうなるのか。
- (会社) JR 社員が対応する。
- (組合) 輸送混乱時の放送も行うのか。
- (会社) 情報提供を基に案内放送を行う。
③項については変わらず終日対応する。
- (組合) 車いす対応は CSP 社員のみが対応するのか。
- (会社) 基本的には車いす業務は CSP に委託する。一度に大勢のご利用がある時は総体で対応しなければならない。
- (会社) ③項については終日対応する。

④ CSP の詰所、休憩場所を明かにすること。

【文書回答】 必要な設備等については、整備していく考えである。

- (組合) 休養場所は確保するのか。
- (会社) 確保する。
- (組合) 何人分のベッドを用意するのか。
- (会社) 委託することにより使わなくなる部屋を確保しようと考えている。駅の勤務体系によるベッドの空き数と CSP の作業ダイヤで正式に決まる。
- (組合) お風呂は共用か。
- (会社) 共用である。何個かあるので分けて使った方が良いと思う。今後の調整である。

⑤ CSP への業務委託を予定している 3 月 1 日以前に CSP 社員が JR 社員に見習いに就くことがあるのか明らかにすること。

【文書回答】 施策実施に向けて、業務受託会社社員の実習を進めていく考えである。

- (組合) CSP 社員に対する教育訓練はあるのか。
- (会社) ノウハウがあるので CSP で教育を行う。
- (組合) 会社としてのノウハウはあるかもしれないが、初めての人に対する教育訓練は時間を要すると考えるが。
- (会社) CSP には教育訓練が必要であると話はしており、やってもらえると認識している。
- (組合) 委託会社に任せて JR はノータッチなのか。
- (会社) 管理者を通して伝える事はあるが社員に直接と言う事にはならない。
- (組合) JEES は業務に慣れた人が 3 割いて JR からの出向者の指導があり業務を回している。津田沼駅は主要駅であり CSP にノウハウがあるとはいえかなり不安である。相当な訓練が必要と考えるが。
- (会社) 委託会社には伝えていく。
- (組合) 入区中止や折返し変更等、運用変更の連絡は誰が受けるのか。
- (会社) CSP の責任者の配置を考えている。偽装請負の関係もないと考える。

- (組合) 作業責任者は終日待機しているという事か。
- (会社) JEES と同じで管理業務を行う。
- (組合) 何処のホームに配置するのか。
- (会社) (遺失物のある) 第 2 ホームを考えている。
- (組合) 責任者が JR との窓口になって連絡を取り CSP の社員に業務を指示するという事か。
- (会社) そのようなやり取りをする方向である。
- (組合) CSP は社員への暴力行為対策を行っていたがその業務も行うのか。
- (会社) 津田沼には暴力行為防止の警備員がいるが同じ社員が両方の業務を行うのかについては CSP 側の事なので答える立場にはない。
- (組合) 見習いにきているようだが。
- (会社) 実習を行っている。
- (組合) JR の社員が指導しているのか。
- (会社) 契約を結んで必要な教育を行っている。引き継ぎと言う形である。
- (組合) 責任者がやり取りをしているわけではないのか。
- (会社) 契約を結んで行っている。指示することはない。
- (組合) 3 月 1 日に予定通り委託可能と言う事か。
- (会社) そうである。
- (組合) 実習の中で委託先からトラブル等は出ていないか。
- (会社) 聞いていない。問題があれば責任を持って対処していく。
- (組合) 何名で何日の実習を行うのか。
- (会社) 委託会社の体制によるので日によって違う。2 月上旬から実施日前まで行う。
- (組合) 土日平日で違うので最低でも 1 週間は必要と考えるが。
- (会社) 全体的なところを考えて実習を行っていると思う。
- (組合) 西船橋駅と津田沼駅の遺失物業務を CSP に委託するが、引き継ぎ場面はどの様に行うのか。
一旦 JR に戻すのか。
- (会社) 実務については JEES から CSP に引き継ぐ。
- (組合) 津田沼で実際に業務する会社は CSP ではなく「タイヨー」と言う会社である。
- (会社) 第 3 者委託するという話は聞いている。
- (組合) CSP と「タイヨー」の関係は子会社か。
- (会社) JR と CSP が契約をし、CSP が違う警備会社に業務を委託するものである。
- (組合) CSP のノウハウと言うのはどうなるのか。
- (会社) ノウハウを持っている警備会社なので CSP が委託をしている。
- (組合) JR 側は CSP を信頼しているので第 3 者委託でやって貰うという事か。
- (会社) そうでなければ業務委託は成り立たない。信頼しながらも問題点があればしっかりと整理はしていく。

2. 成田営業統括センターについて

- ① 案内体制強化のため「変形等」の削減は撤回すること。

【文書回答】 効率的な業務執行体制の構築を目的とし、体制の見直しを実施する考えである。
なお、本施策を撤回する考えはない。

(組合) 昨年 10 月 1 日に成田営業統括センターで交代の 1 減と変形プラス 1 の見直しが行われたが理由は何か。

(会社) ご利用状況等を見て体制を見直した。

(組合) 成田空港駅で見直しがされたという事で良いか。

(会社) そうである。

(組合) 10 月 1 日に減らして 3 月 1 日に増やす理由は何か。

(会社) 混雑等の声が多く上がっており、朝の時間帯の体制を強化するため交代制勤務が必要となり今回提案した。

(組合) コロナで減っていた人が戻ってきているという状況を含めてか。

(会社) それプラスサービスマネージャーの見直しもある。

(組合) サービスマネージャーの廃止で変形 2 減になっているが、サービスマネージャーの 1 日の出勤は 2 日勤か。

(会社) 2 日勤ではない。

(組合) サービスマネージャーの変形のほかにもう 1 日勤減らすという事か。

(会社) 成田営業統括センターとして変形が 2 減になる。時季による繁閑と言う所もある。

(組合) 変形を 1 減らすという事は要員が減るという事だ。

(会社) 本数イコール要員ではあるが人の数では無い。その管理手法はやめようという事である。

(組合) 実際に要員が減るのだから減る理由を知りたい。

(会社) 1 年間で平均しての作業ダイヤ数を減らすのであって人の数を減らすのではない。

(組合) 必要な要員が減るという事だ。

(会社) 本数を示しているのだから社員数、現在員と言う話ではない。

(組合) 現在、成田駅・佐倉駅・成田空港駅の社員が融合しているという事はあるのか。

(会社) 一気に出来るとは考えていない。

(組合) 人が増えてきているが、成田空港駅の利用者数はどうか。

(会社) コロナの時よりはご利用者数は少し増えている。

(組合) 12 月の提案時から利用状況が変わって来ている。コロナ前に近づいていく。2 減らすのはどうかと思うが。

(会社) 業務の繁閑を見て日勤の副長を送り込んで対応している。統括センター総体で対応していく。

(組合) 再見直しを考えてもらいたい。

(会社) 利用者数を見ていかなければならない。今後も検討していく。ご意見として承る。

(組合) 拠点駅に支社の兼務の方は配置されているのか。

(会社) 必ずいると言う訳では無い。決まりごとはない。

(組合) 成田駅はいるのか。

(会社) いる。

(組合) 企画業務を行うのにノウハウを知っている人が必要なため兼務発令をしているのではないのか。

(会社) 地区指で業務されていた方が残っている箇所もある。

(組合) 将来的には解消するのか。

(会社) 状況を見ながら今後検討していく。

(組合) 指導センターが無くなっても輸送混乱時には拠点駅に配置されている兼務の方が駆け付けると認識しているが。

(会社) そう言った活用もされている。その方たちが中心となって対応していくということである。

3. 大網駅について

① 一般職の要員減の理由を明かにすること。

【文書回答】 効率的な業務執行体制の構築を目的とし、お客さまのご利用状況等を踏まえ、体制の見直しを実施する考えである。

(組合) 要員減の理由は何か。

(会社) お客さまのご利用状況によるものである。

(組合) かなり減っているのか。

(会社) コロナ前に戻っていないということである。

(組合) 窓口を閉鎖した事が理由ではないのか。

(会社) お客さまのご利用状況が 1 番の理由である。

(組合) その理由は大網駅に限った事ではないか。

(会社) 大網に限らず作業ダイヤやご利用状況などは全部見ている。

(組合) 基準はあるのか。

(会社) ここでお示しできる基準はない。総体的に見てということである。

(組合) 管理で変形が 2 つある。1 つは被管理担当と思うが。

(会社) 業務を見た所での必要数である。被管理は主にそういった業務を行う作業ダイヤである。

(組合) 交代が 1 減っているが具体的な作業は何か。

(会社) 出札が無いので、改札と乗降終了合図を一般社員で回している。

(組合) 出札が無くなった事が大きいという事か。

(会社) 要因にならないということではない。そう言うこともあり見直した結果である。

4. 船橋営業統括センター（西船橋駅）の乗り換え専用改札の無人化するにあたり、増設等計画している設備があれば明らかにすること。

【文書回答】 必要な設備等については、整備していく考えである。

(組合) 整備するものはあるのか。

(会社) 設備としてはない。

(組合) 計画的な部分として IC 専用改札機に変えると言う事だが。

(会社) そうである。
(組合) 現状の配置のままで IC 専用改札機に変えるのか、それとも事務室を取り外して改札機の配置を変えるのか。
(会社) 事務室を取り外す計画はない。切符を使われている人は少なく中央乗り換え口でカバーできる。
(組合) ホームから上がって来て初めて IC 専用だと分かるわけでかなり無理がある。
(会社) 中山方の階段には IC 専用の表記をする。
(組合) 船橋方の自動精算機は JR の社員が締めるのか。
(会社) 現在 JEES でやっているものは JR が行う。
(組合) 呼び出し対応についても同じか。
(会社) JR が対応する。
(組合) 無人化する理由は何か。
(会社) IC を利用されている方が増えている事が 1 番の理由である。
(組合) 無人化になる改札口での切符の利用率はどのくらいか。
(会社) 概ね 9 割が IC を利用している。
(組合) 1 割の方が利用できなくなる。
(会社) 中央改札口を利用させていただく。
(組合) 乗り換えが便利で利用している人もいる。
(会社) 否定は出来ない。制度の問題もあると思うが、これを機に IC カードをご利用いただくというものもあるかもしれない。
(組合) 精算はそれほどなかったのか。
(会社) ほぼほぼ無いと聞いている。

場で見えて頂くといったやり方もあると思う。

(組合) 管理者が一般業務を行うに当たっての教育は進んでいるのか。
(会社) 錦糸町営業統括センターでは管理者が出札業務を行っている。必要性を考えたらうで教育、配置をする時がある。
(組合) 管理者はきちんと受け止めているのか。管理者側の気持ち次第である。教育は支社で計画して進めてほしい。
(会社) 管理者としての意識付けも必要となると思う。受け止めさせていただく。
(組合) JEES の職場でも不満が出ている。JR がお手本になるよう進めてほしい。管理者が出札をやっているのは勤務が回らないからではないのか。
(会社) そういった部分もある。今後広めていくためにも月に 1 徹 2 徹入って行くかもしれない。
(組合) 西船橋駅遺失物のエルダー社員で行先が決まらない人がいる。健康面などあり追いやられてしまう。会社が提案している制度の中で働いている人はしっかりと守ってほしい。もう少し丁寧な説明を会社はするべきだ。
(会社) そう言った声があるのであれば反省すべき所と考える。会社内で話をさせていただく。

以上のようなやり取りが行われた。

以上

5. 7月1日実施予定の(営業)統括センター設置に伴い作業ダイヤ数を削減する駅と理由を明かにすること。

【文書回答】各(営業)統括センターの体制については示したとおりである。

なお、業務に必要な要員は確保していく考えである。

(組合) 茂原統括センターが出来るとあたって管理の変形が3つ減っているが理由は何か。
(会社) 統括センター全体で行える事を見直し、より効率的で生産性の高い業務の執行体制を取る。これまでの役割分担にとらわれない働き方をしていく。と言う事で提案している。
(組合) 具体的にどこが減るのか。
(会社) 管理者が減っている。全体としての出面数で示す。
(組合) 融合がまだされていない段階でなぜ決まるのか。
(会社) 業務内容をまとめていくと統括センターとして融合し、この出面数で対応が出来ると判断して示している。変更する考えはない。
(組合) 具体的にどの業務が減るのかを示してほしい。
(会社) 会社としては営業統括センター総体で示している。数で判断していただきたい。例えば、被管理の仕事は毎日やる仕事ではない。そういった所を統括センター全体で、各エリアの近い事業